

第四次町田市子ども読書活動推進計画

2021年度取組結果報告書

町田市教育委員会

2022年7月

目 次

基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 1-1 図書館でのおはなし会
- 1-2 「子育てひろば」でのおはなし会
- 1-3 学童保育クラブのおはなし会
- 1-4 子どもセンターのおはなし会
- 1-5 自由民権資料館まつりでのおはなし会
- 1-6 「きしゃポッポ」等での読み聞かせ
- 1-7 健診時のおはなし会
- 1-8 ブックトーク
- 1-9 図書館のおすすめブックリスト
- 1-10 町田市創作童話コンクール
- 1-11 図書館でのイベント・講座
- 1-12 文学館でのイベント・講座
- 1-13 図書館見学の受け入れ
- 1-14 マイ保育園登録時の絵本配布
- 1-15 イベント等における本の活用
- 1-16 母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封
- 1-17 各校特色のある読書活動

基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 2-1 えいごのまちだ
- 2-2 図書館児童資料
- 2-3 公立保育園および地域子育て相談センター
- 2-4 学童保育クラブ
- 2-5 子どもセンター
- 2-6 「学校図書館活用の手引き」
- 2-7 学校図書館の蔵書整備
- 2-8 学校図書館支援貸出
- 2-9 「子育てひろばカレンダー」の発行
- 2-10 「生涯学習NAVI」の発行
- 2-11 まちだ子育てサイトの活用
- 2-12 図書館公式ホームページ・Twitter
- 2-13 「家庭学習の手引き」の提供
- 2-14 「本と出会う場所」マップ

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

- 3-1 学校図書館担当者研修
- 3-2 新任教諭への図書館研修
- 3-3 児童文学講座の実施
- 3-4 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施
- 3-5 図書館おはなし会ボランティアの養成
- 3-6 文学館おはなし会ボランティアの養成

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	1	おはなし会	図書館でのおはなし会	図書館	乳幼児小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢・発達にあったおはなし会を、各図書館が工夫をこらして実施する。	・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが、10月以降再開し、実施可能な館で定期的に開催している。 【中央図書館】 7月から一旦再開したが、8月2週から新型コロナウイルス感染症の影響で10月1週まで再び中止した。10月2週目から再開し、以後定期的に開催している。 ・(4歳～)おはなし会:13回開催、76名参加 ・(2,3歳)おはなし会:6回開催、35名参加 ・(乳幼児)おはなし会:16回開催、94名参加 【さるびあ図書館】 ・おはなし会:10回開催、52名参加 ・(2,3歳児)おはなし会:4回開催、14名参加 ・(乳幼児)おはなし会:9回開催、72名参加 【金森図書館】 ・おはなし会:24回開催、169名参加 ・(乳幼児)おはなし会:8回開催、72名参加 【堺図書館】 ・おはなし会:7回開催、113名参加 ・(乳幼児)おはなし会:2回開催、8名参加 【鶴川駅前図書館】 ・おはなし会:6回開催、64名参加 ・(乳幼児)おはなし会:6回開催、42名参加 【木曽山崎図書館】 ・おはなし会:9回開催、42名参加 ・(赤ちゃんと小さい子)おはなし会:9回開催、40名参加 【鶴川図書館】 商店街のスペースで実施(10月15日「ベンチでちいさなおはなし会」) 【忠生図書館】 リモート開催(10月25日忠生小学校、2月8日図師小学校)	B	・「おはなし会」を、全館で通常どおり再開する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で中止している「ボランティアとの懇談会」を開催する。 ・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、開催にあたって生じた課題を検討する。 ・現在、不定期で開催している「おはなし会」を、通常どおり定期的に開催する。 ・実施可能な館による「出張おはなし会」を開催する。
1	2	おはなし会	「子育てひろば」でのおはなし会	子育て推進課	乳幼児小保	「子育てひろば」事業の一つとして、地域子育て相談センターが乳幼児向けおはなし会を開催する。絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に行う。見て聞いて絵本の楽しさを味わえるように、わかりやすい絵本を提供しながら取り組む。	・地域子育て相談センター110回実施、17回中止(新型コロナウイルス感染症対策のため)。 ・子育てひろばを予約制にし、出し物の一つとして絵本やお話しに触れる時間を設けた。	B	・図書館の絵本も活用しながら、地域の親子に絵本に触れる機会を提供する。	・引き続き、子育てひろばの出し物の一つとして、絵本に触れる機会を設ける。 ・図書館職員やボランティアによるお話し会を取り入れていく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	3	おはなし会	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	在籍する子どものために、おはなし会を実施する。また、子どもセンターや図書館のおはなし会に参加しておはなしを聞く機会を確保する。	【中央学童保育クラブ】 ・毎月1回のお話し会は、新型コロナウイルス感染症対策として、室内でクラスを跨いでの移動を禁止したため、年度後半は中止とした。 ・土曜日の食休み時などに読み聞かせを行った。 ・おやつのに、季節の絵本の読み聞かせなどを定期的に行った。 【つるっこ学童保育クラブ】 ・自由遊びの時間に、子どもたちからの希望があれば、職員による読み聞かせの時間を設けた。	B	・3年生以上の高学年児童による読み聞かせの機会を増し、定例化することを目指す。	・毎月1回実施するお話し会の中で、高学年児童の読み聞かせを行う機会を増えるよう、職員が高学年児童に働きかけ、楽しくやりがいを感じながら実施できるよう支援していく。
1	4	おはなし会	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小	市民に向けた「乳幼児向けおはなし会」を行う。	【ばあん】 ・毎月2回、未就学児の乳幼児を対象に、絵本の紹介を含めたお話、手遊び、パネルシアターなどを、ボランティア団体「おはなしとんからりん♪」に依頼し実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として参加定員を設けた。 ・2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夏休み期間中のおはなし会は中止となったが、2021年度は実施することができた。 【つるっこ】 ・ボランティア団体「柿の木文庫」による乳幼児向けのお話し会「びよばおタイム」を毎月1回開催した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場を広い部屋に変更するなどの対策を講じて実施した。 【ばお】 ・ボランティア「おはなしアイアイ」による乳幼児向けのおはなし会を毎月1回実施した。 ・定例の乳幼児事業の最後におはなしの時間を設け、パネルシアターやペープサート、大型絵本、紙芝居の読み聞かせを実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・2022年度も引き続き、感染状況に留意し、継続して事業を実施していく。また、夏休み事業等についても、2021年度と同様、実施していく予定である。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、ボランティア団体「柿の木文庫」にご協力いただき、毎月1回の乳幼児向けお話し会、小学生向けの夏休みお話し会を実施していく。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	4	おはなし会	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小	市民に向けた「乳幼児向けおはなし会」を行う。	【ばお分館WAAAO】 ・月1回の「はっぴいたいむ」の中でおはなしを盛り込み実施した。 ・ボランティア団体「さくらんぼの会」によるお話し会は月2回開催した。 ・夏休みに子ども達の要望を取り入れ、小学生を対象にした「こわ〜いお話し会」を実施した。 ・不定期の「おはなしたいむ」については、日々子ども達の遊びの状況や保護者交流の合間を見ながら5回実施した。 【ただON】 ・乳幼児を対象にした、紙芝居・手遊び・パネルシアター・音楽に合わせてのお話など(絵本の紹介も含め)を、ボランティア団体「ひろば文庫」に依頼し、毎月1回実施した。 ・夏休み期間に、小学生を対象にした「こわいお話し会」を実施した。 例年、夏休み機関に忠生図書館と共催で行っていた「調べてミッション！図書館の本を使ってクイズに挑戦しよう！」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ・10月に「わくわくお話し会スペシャル」として、お話し会にバイオリンの生演奏を加え、実施した。 ・3月に忠生図書館と共催で「忠生図書館がくるよ！お話しと工作の会」を行った。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施することを目指す。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・不定期開催の「おはなしたいむ」については、月1〜2回程度、定期的に実施していく。
1	5	おはなし会	自由民権資料館まつりのおはなし会(紙芝居上演)	自由民権資料館	小中保	町田の郷土史に興味を持ってもらうために、「町田の民話」の紙芝居等を実施する。	自由民権資料館まつりは、事業の見直しにより中止している。 町田の郷土史に興味を持ってもらえるように、中央図書館特集コーナーにおいて、子ども向けの歴史書籍を紹介した。	C	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介する。
1	6	おはなし会	「きしゃポッポ」等での読み聞かせ	生涯学習センター	乳保	「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」、親子対象のイベント等の保育を伴う事業において、読み聞かせや絵本の紹介を行う。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎月テーマに沿った2冊を選び読み聞かせ、紹介を行った。また、図書館から大型絵本を借りて読み聞かせたり、事業実施中は絵本を展示しておくなど、親子で楽しみやすいような工夫も行った。	B	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていきたい。また、引続き大型絵本も活用したい。
1	7	おはなし会	健診時のおはなし会	保健予防課	幼保	3歳児健診の待ち時間に、ボランティアグループの協力による絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	・2020年4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。	C	・健診の呼び出し方法を変更する際には実施の可否を検討する。	・健診会場で3密を避けるため、呼び出し時間を細かく区切り待合の時間を縮小しているため、再開の予定が立っていない。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	8	ブックトーク	ブックトーク	図書館	幼小中	普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。 より効果的なPRに努める。	- 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが、学校からの依頼に基づき、対応可能な館で実施した。 【中央図書館】 ・7月13日藤の台小学校(6年生)、85名参加 ・12月21日藤の台小学校(4年生)、59名参加 ・2月28日町田第三中学校、35名参加 【金森図書館】 ・1月25日南第四小学校(3年生)、100名参加 ・2月25日南第四小学校(1年生)、97名参加 ・3月3日南第四小学校(支援学級)、25名参加 【忠生図書館】 ・10月25日忠生小学校リモート(3・4年)、137名参加 ・2月8日図師小学校リモート(3・4年)、170名参加	B	・市内全域の小学校等地域にPRする。 ・全館でブックトークを再開する。	・全館の「児童担当者による打合せ」を実施し、市内全域にPRできる方法を検討する。 ・依頼に基づき、ブックトークを実施する。
1	9	ブックリスト	図書館のおすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとたのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま」(学年ごと) - その他、新しい本からおすすめ「みんなでようこどもの本」、「YA通信」等を発行する。	・「ほんのたからじま(新1年生)」を学校に送付し、入学式で配布。 ・「みんなでようこどもの本(総集編)」を全公立小学校へ送付。 ・「ほんのたからじま(3・4・5さい)」を市立保育園に送付し、対象児童全員へ配布。また保育園長会、幼稚園長会の資料として送付し、希望の3園には全児童分送付。 ・夏休み前に「ほんのたからじま(1・2年生、3・4年生、5・6年生向け)」を、全公立小学校奇数学年の全児童に配布。 ・「みんなでようこどもの本」を3回発行し、市立小学校及び子どもセンター等へ送付。	B	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に配布する。 ・「みんなでようこどもの本(総集編)」を、4/23子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布する。 ・22年度も継続して、「みんなでようこどもの本」、「YA通信」等を発行する。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を学校に送付し、入学式で配布するよう依頼。 ・「みんなでようこどもの本」を2回発行し、子ども関係施設にて配布する。 ・「YA通信」を5回発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	10	子ども向け読書活動普及事業	ことばらんどショートショートコンクール (旧:町田市創作童話コンクール)	文学館	小中	青少年の創作活動の機会提供の一環として、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的として行っている「ことばらんどショートショートコンクール事業」を実施する。	・「ひなた村創作童話コンクール」事業をリニューアルし、文学館と図書館の共催事業として初めてショートショートコンクールを実施した。 ・小中学校の校長会等でコンクールの概要を説明し、学校の授業や夏休みの宿題での活用、学校単位での応募の協力を依頼した。 ・コンクールの募集開始前に「ショートショートの魅力」「ショートショートの書き方」の2つの動画をYouTubeで公開するとともに学校のクロームブックでの活用を校長会等で働きかけた。また、出張授業を4校で5回実施するなどPRを積極的に行った。 ・応募件数は目標値の3倍を超える939編(小学校:290編、中学校:633編、高等学校:16編)となった。 ・12月に受賞者を広報まちだで発表するとともに、当館文学サロンでミニ展示を行った。1月30日に表彰式を実施した。	A	・青少年の文学に触れあうきっかけとなるよう、引き続き「ショートショートコンクール」を実施する ・1,000編の応募数を目指す。 ・高校生の応募数50編を目指す。	・多くの児童・生徒に応募してもらえるよう出張授業で創作の楽しさ、方法を伝える。 ・効果的なPR活動を行い「ショートショートコンクール」の認知度を高める。
1	11	子ども向け読書活動普及事業	図書館のイベント・講座	図書館	乳幼小中	「一日図書館員」、「図書館の達人養成講座(まちクエ)」のような参加・体験型イベント、「まちだ図書館まつり」等の図書館事業を行う。	【中央図書館】 ・児童向けイベントとして、「にんきものをさがせ!」「ちきおをめぐらせ!」を4回実施。 ・中学生から大学生までを対象にした図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施。13名の参加があった。 ・「ことばらんどショートショートコンクール」の関連イベントとして「絵本づくりワークショップ」を実施。5名の参加があり、「ことばらんどショートショートコンクール」の宣伝を行った。 ・中高生向け謎解きイベント「まちクエ」を開催し、4名の参加があった。 【鶴川図書館】 ・夏休みイベント「にんきものをさがせ つるだんピック!」を実施。 【金森図書館】 ・夏休みイベント「金森図書館キャラクターをさがそう!」を実施。	B	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各館でイベントを実施する。	・「一日図書館員」や「まちクエ」の参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 ・「まちだ図書館まつり」のようなイベントを企画する団体の活動支援ができるよう体制を整える。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	12	子ども向け読書活動普及事業	文学館のイベント・講座	文学館	乳幼小中	文学館の特徴をいかした、子ども対象の講座等を実施する。	・6月以降、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、子どもの年齢に応じた絵本の読み聞かせやわらべうたの事業として「ちちんぷいぷい(0・1歳児対象)」を18回、「2歳児あつまれ！」を3回、「3・4歳児あつまれ！」を1回実施し、それぞれ203名、23名、7名の参加があった。 ・小学生を対象に、野外に赴いて吟行を行う俳句教室「俳句でハイク」を10～12月に行い、のべ18名の参加があった。 ・小中高生を対象に創作の機会を提供する「ことばらんどショートショートコンクール2021」を実施し、小学生290編、中学生633編、高校生16編の応募があった。	B	・乳幼児親子対象のおはなし会を年間を通じて定期的に実施し、子どもたちの「ことば」への関心を育てる。 ・「ことば」のリズムと創作の楽しさを小学生に知ってもらうため、俳句教室を年2回(春・秋)開催する。	・引き続き、子ども達の「文学の扉」となる事業を、年齢に応じた内容を工夫し実施する。
1	13	子ども向け読書活動普及事業	図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている仕事等を広める。	・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが、対策を講じながら図書館見学を再開した。 【中央図書館】 ・7月2日小山田小学校3年生、45名参加 ・10月29日鶴川第一小学校3年生、126名参加 ・2月3日つくし野小学校3年生、57名参加 【さるびあ図書館】 ・6月24日町田第一小学校2年生、64名参加 【金森図書館】 ・2月16日南第四小学校特別支援教室、8名参加 ・2月17日南第四小学校2年生、74名参加 【木曾山崎図書館】 ・11月4,9日本町田小学校3年生、73名参加 ・11月5,12,19,26日東京都立町田の丘学園小学部3年生、115名参加 ・12月2日本町田小学校みどり学級、21名参加 ・12月17日東京都立町田の丘学園小学部6年生、27名参加 ・12月20日七国山小学校2・3年生(リモート)、181名参加 ・1月18日本町田小学校2年生、35名参加 【忠生図書館】 ・10月12日図師小学校2年生、84名参加 【堺図書館】 ・11月9,16日相原小学校2年生、67名参加	B	・依頼に基づき、継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき図書館見学を開催する。
1	14	子ども向け読書活動普及事業	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	0歳で新規に「マイ保育園」登録とした赤ちゃんには絵本を配布する。絵本に関しては、図書館と連携して0歳向けのものを選定する。	・マイ保育園登録では1331冊の絵本を配布した。 ※マイ保育園とは、地域の家庭が近隣の保育園を「かかりつけ保育園」として登録し、気軽に相談できるような子育て支援である。	B	・マイ保育園登録につながるよう、勧奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
1	15	子ども向け読書活動普及事業	イベント等における本の活用	生涯学習センター	乳幼小中保	イベントや講座等を開催する際に、テーマや対象にあった本を展示・紹介する。	・8月の平和祈念事業において、子ども向けに紙芝居の読み聞かせを行った。 ・乳幼児の保護者向け講座において「子育てに絵本を～赤ちゃんからの読み聞かせ」をテーマとした回を設け、講師からおすすめの絵本の展示・紹介を行った。加えて、受講生同士がお勧めの絵本若しくは、疑問があり意見を聴きたい絵本を持ち寄り、紹介・情報交換し合うワークショップを行った。	B	・本の展示、紹介を行う内容を含む事業を企画・実施する。	・平和祈念事業や講座において、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施したい。
1	16	子ども向け読書活動普及事業	母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封	保健予防課	乳保	母子手帳と一緒に配布される母子バッグに、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを入れる。	・妊娠届出の妊婦及び転入の妊婦に対し、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグを配布。 (妊娠届出:2,283件、転入:275件)	B	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。
1	17	各学校での読書活動	各校特色のある読書活動	学校・指導課	小中	教育課程「指導の重点」に明記し、市立小・中学校においてそれぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組む。	・小学校42校、中学校20校全校で読書活動を実施 ・読書指導の充実及び各教科等における学校図書館の活用について、教育課程「指導の重点」に位置付けた。	B	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
2	1	図書資料の充実	えいごのまちだ	図書館	乳幼小中	町田市が取り組む「えいごのまちだ」事業を推進し、英語の児童書を充実する。	・「Oxford Reading Tree」をはじめとする児童用英語教材や英語絵本を約400冊購入し、合計蔵書数は約6100冊となった。 ・2021年11月3日と2月26日に英語多読講演会を行い、幼児・児童にも絵本に親しんでももらえる機会をつくった。	B	・外国語児童書蔵書数全館合計6,800冊。 ・多読コーナーを設置していない館にも多読コーナー設置を目指す。	・引き続き、英語多読につながる図書の購入を進め、まだ多読コーナーを設置していない館にも設置するようにする。 ・ふるさと納税の寄付金対象事業となったため、多くの支援を受けるための宣伝に力を入れる。
2	2	図書資料の充実	図書館児童資料	図書館	乳幼小中	図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・選定会議で、現物を見たうえで、新刊の内容を確認してから発注した。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握するよう努めた。 ・ビジネスチャットの活用については研究中。	B	・ビジネスチャットの活用方法を確立する。	・引き続き選定会議で、現物を見たうえで、新刊の内容を確認してから発注する。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。 ・ビジネスチャットの活用について、担当者打合せ等で検討。
2	3	図書資料の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼	引き続き、絵本の状況確認を行いながら、必要に応じて本の購入や図書館の再利用本活用で資料の充実を図る。また図書館の団体貸出もあわせて利用する。	・新型コロナウイルス感染症予防のため、園児が図書館を利用することは控えた。 ・職員が図書館の団体貸し出しを活用し、子ども達が絵本に触れる機会を作った。	C	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、活用を検討していく。
2	4	図書資料の充実	学童保育クラブ	児童青少年課	小	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本については図書館からの受入れはなかったが、保護者や地域の方から不要となった本の提供を受け、図書の充実を図った。 ・団体貸出の利用はなかったが、お話し会では図書館の本を活用し、実施した。子どもたちに本のリクエストを募る機会を設け、保護者会と協力して図書の充実を図った。	B	・再利用本や団体貸出を活用し、図書の充実を図る。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・定期的に団体貸出を活用し、お話し会や読み聞かせで活用する。
2	5	図書資料の充実	子どもセンター	児童青少年課	幼小中	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・子ども委員会からリクエストを募り、新規で図書を購入した。 ・事業の効果をより高めるために、内容に関連する図書を団体貸出を活用し、事業実施前に期間を設けに閲覧できるようにした。	B	・再利用本の受入や団体貸出などを活用し、図書の充実を図る。	・利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。
2	6	学校図書館の整備	「学校図書館活動の手引き」	学校・指導課	施	活用状況を把握するとともに研修等の内容に反映させ、普及・啓発を図っていく。	・これまでも実施していた図書指導員の方向けの研修会での周知に加え、司書教諭を始めとした図書担当の教員に向けた研修会の中でも紹介し、啓発を図った。	B	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・研修等で活用についての状況調査を行い、注目が高い内容について、研修の内容や講師の選定にも活用する。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	学校・指導課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・蔵書の構成について、図書館担当者研修会の中の研修テーマとして扱い、整備の推進に取り組んだ。	B	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実を図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。2022年度については年度の早い段階で司書教諭や図書担当教員に蔵書の構成方法について周知を図る。
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・学校規模に応じた予算配当を行った。 ・2021年9月30日時点の「学校図書館蔵書整備報告書」の進捗状況を確認し、進捗が遅れている学校については学校図書館図書標準の達成を促した。 ・2022年3月31日時点の学校図書蔵書整備状況を調査し、全校が学校図書館図書標準を達成したことを確認した。	B	・学校図書館図書標準全校達成	・引き続き学校図書館図書標準の達成を支援するとともに、蔵書数を維持できるよう予算の確保に努める。 ・今後も各校の学校図書館の蔵書数や学校図書館図書標準の達成状況を確認する。
2	8	学校図書館の整備	学校図書館支援貸出	図書館	小中施	図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直す。	・学校図書館支援貸出は、28校が利用し、貸出冊数は2,535冊だった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館・休校、授業編成変更等があり、利用が少なくなった。 ・「テーマ別貸出セット」構築のため、引き続き、資料の追加購入を行った。 ・教員・図書指導員の研修会では、連携サービスの紹介・利用案内のほか、図書指導員等から要望のあった「図書の選書方法」、「おすすめ本紹介」を講義した。 ・学校・学校図書館への連携サービス改善のため、調査やヒアリング等の検討・準備をしたが、実施までには至らなかった。	C	ニーズを把握するため、学校へのアンケート調査を行う。	・支援方法改善及びニーズ把握のため、学校へのアンケート調査等を行う。 ・「テーマ別貸出セット」構築のため、引き続き資料の追加購入をする。
2	9	情報の発信（保護者向け）	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	・図書館のおはなし会は町田地域、南地域が10回、鶴川地域が6回、忠生地域が3回、堺地域が2回、計21回掲載。209箇所配布している。	B	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館からの原稿掲載依頼に対応していく。
2	10	情報の発信（保護者向け）	「生涯学習NAVI」の発行	生涯学習センター	保	市民が参加できる講座・講演会、イベント情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI」の中で、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。	・子どもとその保護者を対象とした、おはなし会や紙芝居や絵本、ことば遊びのイベントの情報を13件掲載した。 （春1,500部・夏1,500部、秋号2,000部、冬号2,000部を各市内公共施設や相模原市・大学・専門学校等で配布）	B	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・図書館、文学館の情報だけではなく、まちライブラリーなどさまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
2	11	情報の発信(保護者向け)	まちだ子育てサイトの活用	子ども総務課	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの中止があり、サイトでの情報発信が少ない時期があったが、必要な情報を適宜発信した。	B	・見やすい、探しやすいサイトを目指し、整理を行っていく。	引き続き、各施設で行われているイベントの情報を、分かりやすく見やすく伝えていく。
2	12	情報の発信(保護者向け)	図書館ホームページ・Twitter	図書館	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・毎月1日と15日に図書館ホームページとTwitterにてイベント情報を掲載している。今年度の更新回数はホームページは227件、Twitterは100件。 ・まちだ子育てサイトに「おはなし会」の情報を掲載している。今年度の更新回数は165件。	B	・引き続きわかりやすく情報の早い発信を目指す。 ・子育てサイトや他SNSへのアクセスが容易に出来るようにする。	・イベントのお知らせ以外のページ(「みんなでもうこどもの本」の紹介ページなど)のPRを検討する。 ・子育てサイトに「おはなし会」のページを掲載していることをより多くの人に知ってもらえるようPRを行う。
2	13	情報の発信(保護者向け)	「家庭学習推進の手引き」の提供	学校・指導課	保	全家庭に「家庭学習推進の手引き」を作成し、配付していく。	・2021年7月に「家庭学習推進の手引き」を全家庭に配布した。	B	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として「読書活動の推進」を行うことを継続する。
2	14	情報の発信(保護者向け)	「本と出会う場所」マップ	図書館	保	本に出会える施設や、おはなし会等を実施している団体の情報を集約した読書マップを2020年に作成・公開する。	・図書館ホームページに掲載している「町田市読書マップ」について、随時修正依頼に対応し、2回修正を行った。 ・新しくできた読書活動を推進している施設を訪問し、活動内容についてヒアリングを行った。	B	・「町田市読書マップ」の紙媒体の改訂。 ・ホームページ版の掲載内容の充実。	・紙媒体の改訂を行うため、登録施設への現況確認を行い、新規施設のリサーチを行う。 ・ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。

基本目標Ⅲ ◎子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
3	1	施設運営職員の育成研修	学校図書館担当者研修	学校・指導課	施	図書指導員・学校司書が司書教諭等と連携して円滑な図書館運営を図れるよう、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していくための研修を行う。また、図書指導員間での情報共有を行う。	・図書担当の教員向けの「学校図書館活動の手引き」活用に関する研修1回、図書指導員向けの学校図書館の活用、蔵書管理や管理の機会の設定についての研修を2回実施、2022年度も実施計画中である。 ・感染症拡大防止の観点から、年間で予定した研修4回のうち、7月に予定していた第2回は集合研修を企画していたが、緊急事態宣言下だったため中止とし、第4回の研修内容に同内容を盛り込んで開催した。	B	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。
3	2	施設運営職員の育成研修	新任教諭への図書館研修	学校・指導課	施	研修を通して、専門性が深まるように啓発していく。	・2021年9月の初任者等研修の中で、町田市図書館担当者から学校への資料貸し出しを含めた図書支援サービスの内容について、研修を実施した。今年度は、100名程度の新任教員が受講している。	B	・授業内容の充実を図るために図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。
3	3	講座	児童文学講座の実施	文学館	保	児童文学への理解を深めることにより、個人の読書行動や子どもの読書に関わる活動に寄与する。	・絵本作家の講演会を9月に企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を中止した。 ・1月に0～2歳児の保護者を対象とした読み聞かせの連続講座を実施し、のべ37名の参加があった。	B	・保護者が子どもの読書活動を支援できるよう、保護者向けの講演会と講座を実施する。	・引き続き、保護者を対象とした絵本や児童文学に関する事業を実施する。
3	4	ボランティア養成	保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施	図書館	保	保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者に対して、絵本の読み聞かせ講座を実施する。	・読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座を中央図書館で「基礎編」を2回、忠生図書館で「実践編」を1回開催し、合わせて34名参加した。 【中央図書館】 ・9月28日「絵本の読み聞かせ講座」10名参加 ・11月19日「絵本の読み聞かせ講座」15名参加 【忠生図書館】 ・12月1日「市民向け読み聞かせ講座」9名参加	B	・ただ実施するだけではなく、テーマを定め、テーマに沿って開催する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「基礎編担当」、「実践編担当」とに振り分け講座を開催する。

基本目標Ⅲ ◎子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取組	担当課	対象	内容	2021年度取組結果報告／特記事項	自己評価	2022年度目標	2022年度取組
3	5	ボランティア養成	図書館おはなし会ボランティアの養成	図書館	保	ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修を、地域館を含む各館で9回開催し、合わせて60名参加した。 【中央図書館】 ・3月1日「乳幼児ボランティア向け講座」6名参加 【金森図書館】 ・10月28日「絵本の読み聞かせ講座～実践編」16名参加 ・12月10日「乳幼児ボランティア研修」7名参加 【堺図書館】 ・10月13日「乳幼児向けおはなし会ボランティアフォローアップ研修」3名参加 【忠生図書館】 ・10月20日「乳幼児ボランティアスキルアップ研修」7名 ・10月27日「語り手ボランティア向け読み聞かせ研修実践編」9名参加 【鶴川地域】 ・11月15日「鶴川地域図書館乳幼児向けおはなし会ボランティアスキルアップ講座」6名参加 ・11月15日「鶴川地域図書館おはなし会ボランティアスキルアップ講座」10名参加	B	・ただ実施するだけではなく、テーマを定め、テーマに沿って開催する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「乳幼児ボランティア向け」、「語り手向け」などに振り分け、研修等を開催する。
3	6	ボランティア養成	文学館おはなし会ボランティアの養成	文学館	保	「ちちんぷいぷい支援隊」メンバーの更なるレベルアップを図るための研修を継続して行う。メンバー以外の子ども読書に関わる人も研修に参加してもらう。	・1月に0～2歳児の保護者を対象として実施した読み聞かせ講座に「ちちんぷいぷい支援隊」メンバーにも参加してもらい、研修の場とした。	B	・子どもたちに質の高いおはなし会を提供するため、メンバーの更なるレベルアップを図る研修の機会を設ける。	・継続事業として実施予定。